

## 新アスロックに関する外部評価委員会の概要

### 1 評価対象項目

新アスロック[事後評価(技術試験終了時点)]

(計画担当:技術開発官(誘導武器担当))

### 2 評価対象事項

超高速パラシュート関連技術

### 3 事業の概要

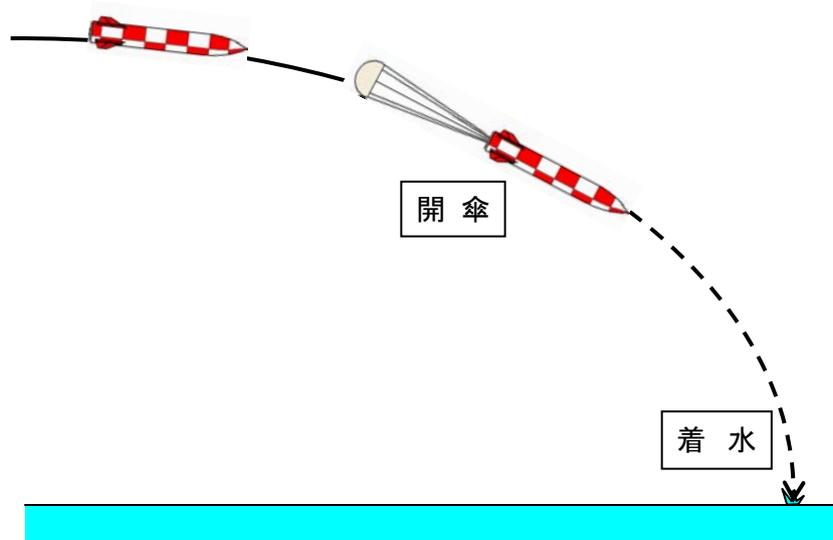
#### (1) 技術開発の目的

将来の護衛艦に装備し、潜水艦を遠距離で攻撃・撃破し、対潜戦の遂行に寄与する新アスロックを開発する。

#### (2) 研究開発線表

11	12	13	14	15	16	17	18	
		試作						
←		→						
			技術試験					
←			→					

#### (3) 発射試験状況



発射試験におけるパラシュート開傘イメージ

#### 4 外部評価委員会の概要

(1) 開催日：平成18年12月12日  
場 所：防衛庁技術研究本部

(2) 評価委員(職名は委員会開催時点。敬称略、五十音順)  
(委員長) 近藤 恭平(東京大学名誉教授)  
新井 紀夫(東京農工大学大学院 教授)  
大貫 武 (宇宙航空研究開発機構 超音速機チーム長)

(3) 説明者：技術開発官(誘導武器担当)付 第5開発室  
室長 福崎 一之

#### (4) 議論の概要

超高速飛行からのパラシュート開傘時に生じる事象について議論があった。

超高速飛行からのパラシュート開傘時の挙動は、一般に未解明の部分が多く、風洞試験と発射試験で合致しない一部事象について、その原因を解明することは、現時点では困難であるが、本パラシュートは、風洞試験で正確には予見できなかった事象が生じて、開傘には問題ないと考えられる等の意見を頂いた。